

# 吉野川水系河川整備計画 ニュースレター

～策定に向けたとりくみ～

Vol.10 速報版

平成 20 年 3 月 発行

## 『第3回 吉野川流域市町村長の意見を聴く会』(上流域、下流域、中流域) 『第3回 吉野川学識者会議』を開催しました。

四国地方整備局では、現在「吉野川水系河川整備計画」の策定に向けた取り組みを行っています。第3回吉野川流域市町村長の意見を聴く会を1月16日、1月28日、2月6日に、第3回吉野川学識者会議を2月13日に開催し、「吉野川水系河川整備計画【再修正素案】」について市町村長および学識者の方々からご意見をお聴きしました。

### 第3回吉野川学識者会議

#### ■概要

開催日：平成 20 年 2 月 13 日 13:00 ~ 17:08

開催場所：徳島県建設センター 傍聴人数：24 名

#### ■会場での主な意見

- 自分の身を守るという防災教育を子供の中にも浸透させることを考える時期だと思う。また、高齢社会における洪水時の緊急対応について、高齢者に対する優しさ、孫世代との関わりなどを作っていけたら良いと思う。
- 異常な降雨における対応は、はん濫形態などを踏まえ、検討していただきたい。
- 地震時における定量的な検討は十分にされていないが、将来、具体的な必要対策が定量的に評価出来る時が来れば、早急に詰めていただきたい。
- 環境について、評価する場所と評価する手法が明確でない。環境目標を策定するための懇談会、委員会あるいは常設の検討会を設けるなどの体制を整え、早期に環境目標を策定していただきたい。
- 森林による流出抑制、水質の保全、土砂の流出抑制、森林に関する他機関との連携などを強く打ち出していくいただきたい。
- 砂防治山地方連絡調整会議については、もっと踏み込んで、その会議を中心に国交省、林野庁およびNPOなどが連携して事業を行うことを検討してほしい。
- ミチゲーションにあたっては、その工事の計画・実施・施工に対しての評価システムを持つことが重要である。
- 景観的な保全については、歴史的なものや地物などをどうやって保存し、活用していくか、また情報の提示やその仕組みなども配慮してほしい。
- 物理環境の維持管理という観点で、どれだけ土砂を止めれば、どのような影響ができるかはよくわかっておらず、いかに土砂を増やすかについて研究・調査を進めるということを将来の課題として記載してほしい。
- 事業工程について、5年後で評価出来るように、項目ごとに一覧表を作成しておき、何ができる、何ができないかを整理し、見直さなければならないときに、それを活かすようにしてほしい。



※誌面の関係上頂いたご意見全ての記載はできませんでした。

ホームページには速記録を公開いたします。

裏面も  
ご覧下さい →

# 第3回吉野川流域市町村長の意見を聴く会

## ■概要（上流域）

開催日：平成 20 年 1 月 16 日 13:00 ~ 15:35

開催場所：土佐町保健福祉センター 傍聴人数：14 名



## ■会場での主な意見

- 洪水調節能力の拡大と事前放流が出来る施設に早く改築してほしい。
- 排出土砂の有効利用についても検討してほしい。
- ダム施設の改良などで濁水を解消していくんだということを素案に記載してほしい。
- 上流域を直轄管理区間に編入してほしいという望みは捨てていない。また高知県の事業が進むような体制作りを国からもお願いしたい。

## ■概要（下流域）

開催日：平成 20 年 1 月 28 日 8:30 ~ 10:30

開催場所：徳島県建設センター 傍聴人数：7 名



## ■会場での主な意見

- 市民は浸水といった事態に非常に神経質になっており、吉野川水系河川整備計画には高い関心を示している。30年計画と言わず、予算の優先的な確保・拡大に特段の配慮・ご努力をいただき、可能な限り早期に計画実現ができるよう要望する。
- 安定して水を確保することは、最優先に考えるべきことである。
- 早期に河川整備計画を策定し、早く着手していただきたい。
- 勝命地区には無堤地区が約 2 km あり、できるだけ早期にこここの築堤をお願いしたい。
- 洪水時や高潮等に対応するために、出来る限り河口堰の極め細かな対応をお願いしたい。
- 100年に一度の対策を早急に作っていただけるのが一番だが、完璧なものは不可能。小さいものからでも、総合的にレベルを上げていくという考え方でやってほしい。

## ■概要（中流域）

開催日：平成 20 年 2 月 6 日 13:00 ~ 14:42

開催場所：四国三郎の郷 交流体験棟 傍聴人数：19 名



## ■会場での主な意見

- 無堤地区につきましては、早く河川整備計画を策定して、着工してほしいというのが、中流部の首長、住民の願いである。
- 吉野川の利水に必要な水については、安定的に確保できるように、管理をお願いしたい。
- 銅山川の無水区間の水環境を改善してほしい。
- 堤防が出来ると内水の問題がある。排水ポンプが必要な箇所や順次どうやって整備していくかなど、踏み込んで計画の中に入れていただきたい。

※誌面の関係上頂いたご意見全ての記載はできませんでした。ホームページには速記録を公開いたします。

※「吉野川水系河川整備計画【再修正素案】」については、国土交通省の関係機関及び各市町村の窓口で閲覧いただけるほか、ホームページ (<http://www.yoshinoriver.info>) からダウンロードすることもできます。